

平成 27 年度第 1 回（通算第 71 回）

山口国際文化学会へのおさそい

教員世話人 稲田秀雄

院生世話人 王 星慧 小野飛鳥 岡村理恵

日時 平成 27 年 4 月 22 日（水曜日）16 時 10 分より
場所 国際文化学部棟 C-12 教室
主催 大学院国際文化学研究科
発表者 西脇靖洋 国際文化学研究科准教授

タイトル 「スペイン、ポルトガルにおける欧州懐疑主義」

要旨

2009 年のギリシャ粉飾決算問題を契機とする「ユーロ危機」の発生後、多くの EU 加盟国国内において「欧州懐疑主義」（EU に対する不満）の高揚が確認されるようになってきている。とりわけユーロ危機の震源の一つであるスペイン、ポルトガルでは、国民の EU に対する態度に大きな変化が生じている。1970 年代中盤に生じた政治体制の民主化に欧州統合問題が大きな影響を及ぼしたという事実や、1986 年の EC 加盟後、共同体から多額の支援を受けてきた背景から、上記 2 カ国はこれまで欧州統合に対して等しく親和的な反応を示してきた。しかし危機の発生以降、これら 2 カ国でも EU に対する不信感が急速に強まっているのである。本研究では、以上のような欧州懐疑主義の高まりの要因や、両国間の EU に対する反応の相違について、両国の歴史に注目しながら考察する。

※終了後、第二部として自由なトークを展開できる場（山口国際文化学 SALON）を準備しております。こちら皆様積極的なご参加をお願いいたします。